

札幌市・北海商科大学と本学 協働してまちづくりに取り組む包括連携協定締結



左から本学森下宏美学長、秋元克広札幌市長、堂徳将人北海商科大学学長

「地域における知と人材の循環を創出し、地域課題の解決に寄与していく」

9月18日札幌市役所にて、札幌市、北海商科大学、本学が包括連携協定を締結した。この協定は、それぞれが有する資源を持ち寄り、協働してまちづくりに取り組むことにより、地域における知と人材の循環を創出し、地域課題の解決に寄与していくことを目的としている。

秋元克広札幌市長は「全国的な課題である少子高齢化が進んでいく中、持続可能な、精神的にも肉体的にも豊かに暮らしていけるまちを実現していかなければいけない。行政単独では解決していけないこともある中で、様々なセクターの皆

中、様々なセクターの皆、本学森下宏美学長は「今、い総合的な知恵を作り出し、社会の担い手を育てていく役割を果たしたい。人口減少下でも社会の維持・持続、政策づくり、そして地域社会の担い手の育成、さらに新たな、意味のある貢献をしていきたい」と話した。

「人口減少」「若年層流出」対応に協働

北海道は課題先進地域と呼ばれている。そうした中で国民問わず、人々の生活に必要な物やサービスを持続的に提供していくことができる

北海道後志総合振興局と本学 グローバル人材育成に係る 連携・協力に関する覚書締結



猪口浩司北海道後志総合振興局局長(右)と森下宏美学長

9月25日、北海道後志総合振興局と北海学園大学は、グローバル人材育成に係る連携・協力に関する覚書締結を本学で行った。この覚書締結は、北海道への誇りと異なる文化への寛容を身に付け、国際社会に貢献する高い志と広い視野を持ち、地域や世界の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意思を持つ人材の育成において、互いに連携・協力することにより、地域社会の持続的発展に資することを目的としている。

本学の「HGU数理・データサイエンス教育プログラム」が、2024(令和6)年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定され、身につけることができる能力。このプログラムでは、データ分析の基礎的な能力を身に付けることができます。統計情報の意味を正しく理解して、数理的思考に基づいた意思決定に役立てることができ、AIの特徴を理解して、AIを活用するために必要な素養を身に付けることができます。

HGU数理・データサイエンス 教育プログラム

【プログラムの目的】
本学では、2023年度からすべての学部において、リテラシーレベルの教育プログラムを開始しています。これからの情報化社会で必要となるAIを含めた基礎的な情報リテラシーを身に付けることを目的として、本学の「HGU数理・データサイエンス教育プログラム」が、2024(令和6)年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定され、身につけることができる能力。このプログラムでは、データ分析の基礎的な能力を身に付けることができます。統計情報の意味を正しく理解して、数理的思考に基づいた意思決定に役立てることができ、AIの特徴を理解して、AIを活用するために必要な素養を身に付けることができます。

MDASH Literacy

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル

MDASH Literacy

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル

学報

北海学園大学

北海学園大学学報
発行・編集 北海学園大学
札幌市豊平区旭町4丁目
1番40号 〒062-8605
☎ 011(84)1161 FAX 011(824)3141
https://www.hgu.jp/
✉ gakuho@tyhr.hokkai-s-u.ac.jp
発行日(6月1日、9月1日、12月1日、3月15日)
購読料 1部80円 年間320円
制作・印刷 株式会社人力社



北海学園大学
学報
バックナンバー

主な記事

令和6年度9月期卒業証書・学位記授与	2面
北海学園大学研究助成事業報告③工学部喜田拓也教授	3面
同窓会「豊平会」70周年	4面
研究室を訪ねて⑦人文学部南明世講師	5面
国際交流プログラム海外研修で異文化体験	6面
学園人脈記第29回札幌ハムプロジェクト代表すがの公氏	7面
第73回十勝・第53回工祭サークル発表・出店数増で大盛況	8面

詳しくはホームページをご覧ください



【HGU数理・データサイエンス教育プログラム運営委員会】
info-mds@hgu.jp

語る組織

ストーリーテリングオーガニゼーションズ
高橋正泰・増田靖 監訳／中村暁子 経営学部准教授 他共訳

定価 六、九三〇円税別

同文館出版

ビジネスコミュニケーションのための英語力

英語の壁を打ち破ったビジネスパーソンの成長要因
内藤永穂 監訳／寺内一穂 監訳 山中石希美 マス子 監訳 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
国際的な業務に携わるビジネスパーソンは、どのような自身の英語の「壁」を乗り越えているのか。調査研究を通して可視化した日本語の書籍。

定価 二、二〇〇円税別

朝日出版社

新版 カウンセリング心理学ハンドブック

日本カウンセリング学会監修／カウンセリング心理士養成カリキュラムテキスト編集委員会編／田中勝則 監訳 他共著
「カウンセリング心理士」資格試験のテキストである。第1編「基礎知識」から第2編「実践」まで、とって座席の書。理論と実践、技法の基礎、アセスメント、研究方法を網羅。

定価 四、四〇〇円税別

金子書房

日本外交の論点(新版)

佐藤史郎・川名晋史・上野友也・齊藤孝祐 山口航 編
高橋義彦 法学部准教授 他共著
日本外交における「べきである」すべきでない」の対立を取り上げ、学術的な議論を提示。安全保障や国際協力、経済、文化など、日本が直面している課題を幅広く収録。

定価 二、六四〇円税別

法律文化社

ウィーン1938年最後の日々

オーストリア併合と
フロイト、カネッテ、ウィットゲンシュタイン
一家に迫る危機。独立を争うとする書簡たちや文化人や芸術家の抵抗や命を懸け、芸術都市ウィーンの繁栄した日々を描く。

定価 二、九七〇円税別

慶應義塾大学出版会

Japanese Perspectives on Kazuo Ishiguro

Takayuki Shonaka, Takahiro Mimura, 森川慎也 (人文学部教授) 編
ノーベル賞作家カズオ・イシグロに対する日本からの新たな視点を提供。テキサス大学ハリーランサムセンター所蔵のイシグロの初期草稿から、作品の起源を探る。

定価 一、五〇〇円税別

Palgrave Macmillan

「もう差別なんてない」と思っているあなたへ

アメリカの経験から日本の現在と未来を考える
森川美生(法学部非常勤講師) 大森一輝(人文学部教授) 著
「差別」でなく「区別」なのではないか。差別をなくして、区別を正しくするのは正義の押し付けなのか。「差別」は、どこにも存在しています。見えにくい見えない。本書を通して一緒に考えよう。

定価 一、五〇〇円税別

小島遊書房



北海学園学術研究助成事業報告③1

複合現実を用いた
教育コンテンツ開発

工学部教授 喜田 拓也



兵庫県本市出身。九州大学理学部(物理学科)卒業。九州大学大学院システム情報科学研究科情報科学専攻修士課程博士課程修了。博士(情報科学)。九州大学附属図書館専任講師、北海道大学准教授を経て、現職。専門は情報検索やデータベースに関するアルゴリズムとデータ構造の研究。特に圧縮検索技術の研究に集約がある。本学では情報リテラシーやプログラミングの教育に携わっているほか、情報理論や情報科学などの科目を担当している。情報処理学会、電子情報通信学会、データベース学会、人工知能学会に所属。

複合現実 (Mixed Reality; MR)

とは、現実空間と仮想空間の互いの座標を正確に合わせることで、両方の空間を同時に体験させる技術のことである。拡張現実 (Augmented Reality; AR) のように現実の風景に3D CGオブジェクトをオーバーレイ表示するだけでなく、仮想空間内のオブジェクトが現実空間からのフィードバックを受けられる点が異なっている。これは拡張現実の発展形と見ることが出来る。拡張現実と仮想現実 (Virtual Reality; VR) の融合とも見ることが出来る。

身近に増えてきたMRデバイスの活用事例

本学術研究助成事業の目的は、複合現実の教育への適用可能性を検討し、具体的な教育コンテンツを開発することである。小職の専門とする研究内容ではないが、2020年に本学に着任して以降、卒研究生と共に手探りで始めたVRコンテンツ開発を基に、最新のMRデバイスを用いたコンテンツの開発を開始した。事業を開始した2020年時点では、一般向けの本格的なMRデバイスは売られている。これに伴って、先端的な企業や研究所だけでなく、エンターテインメントや教育業界などでMRデバイスの活用事例が増えてきた。本学術研究助成事業ではMicrosoft HoloLens 2を導入し、主に生命科学・情報科学分野の学習成果の向上を目的とした新しい体験を提供することを目指している。そのために、事業年度ではHoloLens 2のトラッキング性能の評価実験を実施することになった。翌2023年度には、山鼻キャンパスの校舎内を案内するAR地図アプリの開発などを行っている。これまでの研究については、2025年1月発行の北海学園大学工学部研究報告第52号に「X

教育振興資金
奨学金B 賞状授与

10月1日、教育振興会は奨学金B(学業成績が特に優れている学生への給付型の奨学金)の授与式を挙行政、今年度選考された9名の奨



授与式には、奨学生、学長、各学部長、教育振興委員長をはじめとする関係者が出席

学生に対して、森下安美学長から激励の言葉が贈られるとともに、賞状が授与された。

北海学園大学出版会
今年度2冊刊行予定



授与式には、奨学生、同窓会会長をはじめとする同窓会役員、学長、各学部長が出席

本学の教育・研究と成果を、出版を通して社会に寄与すべく2019年4月1日に発足した「北海学園大学出版会」。昨年度まで学術書8冊と、「しまふくろ」新書3冊を刊行した。今年度は、学術書2冊「馬喰の流通経済学的研究」北海道蘭越町・八雲町・森町・七飯町の事例を中心として「(経済学研究科博士課程単位取得満期退学・松浦努著)と「喪失と死者」F・スコット・フィッツジェラルドの短編小説(法学部准教授・松浦和宏著)を刊行予定。出版物は北海学園大学生協、北海道大学生協、紀伊國屋書店札幌本店、Amazonで販売している。お問い合わせは、庶務課学術係まで。

経営学部講師
花塚 優貴



トピックス
77

「先生のゼミに入ると何に役立つ知識を身につけられますか」。最近よく耳にする質問だ。「社会に出てから不可欠な問題解決のための思考力を身につけることができます」とか「自分の勤めたいものの魅力を伝えたり、相手の主張を汲み取るスキルが身につきます」

「役に立たないこと」は
知らなくていい?

などと答えることがルーティン化してきている。もちろん間違っているとは言っていないし、実際そのようなスキルを磨くためのカリキュラムは組んでいる。しかし「何に役立つか」という質問を受ける時いつも窮屈さを感じてしまう。役に立たないことは学ぶ必要がないのだろうか。たしかに社会に一步出てみれば、効率よく結果を出すことが重視される。特に近年ではタイパ・コスパが賞賛される場面も多い。何らかの形で世間に貢献しなければ報酬を得られない以上、ある程度は「役に立たないこと」は知らなくていい。近縁な動物のこう(認知機能)を比較し、その類似点・相違点を明らかにすることで、ヒトの種としての独自性を明らかにしようとする学問である。「ヒトのヒトらしさを知って何になるのか」という質問も飛んできそう。個人が自分のアイデンティティを確立してから、自分らしく生きられるように、ヒトの種としてのアイデンティティを知ることができれば、ヒトとしてより生き活きとした人生を送れるようになる、と答えることもできるが、そうするのは野暮だ。自分が面白いと思えるものは掛け値なしに価値がある。大学に入ったのなら、損得なしに自身の「面白い」を追求して欲しい。それだけの時間と環境があるのだから、思う存分に謳歌してくれることを切に願っている。

iRIC 講習会開催

河川流、河床変動、土石流・泥流、洪水氾濫、生息場評価の解析用フリーソフト iRIC ver. 4に関する集中講義



清水康行特任教授



講習会の様子

10月31日・11月1日の2日間、本学豊平キャンパスA V 4教室にて、iRIC講習会が開催された。この講習会は研究及び業務で河川の解析をよりスムーズに実施することを目的として、チュートリアルに従ってiRICをパソコン上で操作し、実際に解析を行いながらiRICの各ソルバの使用方法を習得するための初心者向けの集中講義である。本学特任教授でiRIC研究会会長の清水康行先生をはじめと河川について学んでいる学内外の学生、街づくり・川づくりの関係者や、ハザードマップ作成といった防災に関わる人が多数参加した。ソフトウェアは海外をはじめ、アメリカやヨーロッパ、南米などの国々で幅広く講習会が行われ活用されている。清水先生は、平面2次元での河川流と流砂のシミュレーションに先駆的に取り組み、この成果を反映するのみでなく、多くのシミュレーション研究者と共に多様なモデルを自由に使えるiRICという河川解析のソフトウェアを開発した。清水先生を中心に開発普及が進んでいる。



札幌駅周辺を俯瞰した3Dハザードマップのキャプチャ画像



札幌市街地での通常目線での浸水の様子を表現した3Dハザードマップのキャプチャ画像

同窓会「豊平会」70周年

記念式典・総会・祝賀会 開催



同窓会結成 70 周年総会の様子

北海学園大学同窓会「豊平会」が今年70周年を迎え、記念式典が10月26日、札幌パークホテルで行われた。

記念式典副委員長・宮本雅次氏の開会のあいさつに続き、関寛会長の式辞、森下宏美学長の祝辞が述べられ、支部表彰・支部長表彰・評議員表彰・役員表彰など34名に感謝状が贈呈された。続いて、約600名が出席して総会、祝賀会が盛大に行われた。お楽しみイベントとして、ギリクラブOB会による合唱が披露されたほか、豪華景品が当たる学園グレイトビンゴで大いに盛り上がった。

懐かしい友との再会は70周年の節目に、より結束を深めることになった。

北海学園大学同窓会会長 関寛



本年は、1954（昭和29）年の結成から70周年にあたり、過日開催の記念式典には、森下宏美学長はじめ諸先生のご臨席を賜り無事終えることができました。ここにご参集の皆様にご挨拶を申し上げます。

北海学園大学同窓会結成70周年によせて

同窓会は、1950（昭和25）年開設の北海短期大学生、編入生等からなる4年制大学最初の第一期卒業生の門出を祝うべく結成されたものです。北海学園大学同窓会を豊平会（ほうへいかい）と命名したのは上原敏三初代学長でした。上原学長は、1954（昭和29）年3月、大学65名・短大135名の卒業生を送る式辞の中で「第一回卒業生として社会に出て、その一挙一動は全て社会の鋭い目となり、しかもその価値はすなわち本学の評価となる」と説いて卒業生の奮起を促しました。また同窓会を最初の校舎が建った現在地、豊平（とよへい）を（ほうへい）とし、この地で学び果立つ同窓が生産この地を忘れる事がないようにとの願いから「豊平会」と命名されました。

同窓会最初の総会は、この年の6月13日に行われ初代会長には、伊藤博氏が就任し、翌年には、今日にも繋がる第1回の新会員歓迎会を大学と協賛で開催しております。開学間もない時期故、校旗は4年制大学のようになって最初の入学式1952（昭和27）年4月には間に合わず、さらに学歌が6年後の1958（昭和33）年に誕生するまでの間、3期生吉本直之氏作詞、4期生横澤寛氏作曲の学生歌が学園生のよりどころとなりました。

研究室の窓

法学部講師 伊故海 貴則



私の専門は歴史学（日本近現代）である。歴史学は現在の問題と無縁ではないけれども、歴史学の知見をもって現代の世相に切り込むことはなかなか難しい。そこで、ここでは現在取り組んでいるテーマを述べてつづ、北海道の地域社会の歴史を考察するきっかけを提示してみたい。

北海道における近代社会形成をいかに描くか

20年代の移民社会における社会形成について研究を始めている（当初、北海道には函館を除き、移民集会所は開設されなかった。村々の中から選出される総代人と村民らの集会所の代わりをなしていた）。実はこれまでの研究において、明治0年代から開始され、明治20年代に本格化する合議による村落運営を通じた北海道移民の社会形成のあり方は、関係諸制度の分析を要する。こうした諸問題をふまえて、いかに北海道における近代社会形成を描くのか。私の当面の課題である。

余暇ツーリズム学会で表彰

経済学部 藤田知也 准教授

9月7日・8日に開催された余暇ツーリズム学会2024年度全国大会で、本学経済学部・藤田知也准教授の論文「観光列車が鉄道事業者にもたらした効果——が学会表彰を受賞した。この賞は、余暇、ツーリズム、およびその隣接諸学に関する理論または応用について、学術の進歩および普及に貢献するところが大学経済学部の発展を促し、学会および学術の発展をはかることを目的としたもの。会員が前年度に著述した査読付き論文のなかで、学術水準が高いと認められたものが表彰される。



経済学部 藤田知也准教授（右）

九州体育・スポーツ学会 若手優秀発表賞を受賞

法学部 内藤貴司 准教授

9月7日・8日に開催された九州体育・スポーツ学会第73回大会（会場、長崎大学文芸キャンパス）の一般研究発表において、本学法学部・内藤貴司准教授が演題「運動前のファンクリングは暑熱下における自己制御運動強度を悪化させる」で若手優秀発表賞を受賞した。



法学部 内藤貴司准教授の表彰状

「世界のトップ2%の科学者」に選出

工学部 前田秀基 教授・朝倉利光 名誉教授

2019年7月に初回が発表されたスタンフォード大学とエルゼビア社による「標準化された引用指標に基づく科学者データベース」が2024年9月17日に更新され、本学工学部電子情報工学科の前田秀基教授と、本学の元学長である朝倉利光名誉教授の2名が選出された。

学園オリジナルワイン

『同窓会結成70周年記念ラベル』が完成！



同窓会結成 70 周年記念ラベル

生命工学科×八剣山ワイナリー×ナチュラルバイシクルによるコラボ

北海学園大学同窓会「豊平会」は、設立70周年を記念して、生命工学科の研究から生まれたもので、学生らの研究により選抜されたワイナリー好適酵母を使用して醸造されています。10月26日に開催された「同窓の夕べ」では、約600名の同窓がこの記念ラベル付きのワインで乾杯しました。このたび「70周年記念ラベル」が作成されたことにより、同窓会の節目を祝う記念品にもなりましました。この取り組みは複数のメディアにも取り上げられています。



詳細はこちら（大学プレスセンター）



研究室を訪ねて Vol.17

人文学部日本文化学科

みなみ あきよ
南 明世 講師

【日本語学概論、日本語学特論】

名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語言語文化専攻博士後期課程修了。博士(文学)(名古屋大学)。研究テーマは、日本語学習者のための日本語文法記述。

本学で活躍する専任教員の研究を、その人となりとともに紹介する「研究室を訪ねて」。第十七回は、「日本語学概論」などの講義を担当する人文学部の南明世講師の登場です。

——南先生は日本語学が専門で、今年4月から本学で日本語学概論と日本語学特論の授業を担当されていますね。まずは日本語学との出会いから教えてください。

南 実は私は英語が好きで、高校の途中までは海外に目が向いていました。それがアメリカで看護師として働いている高校の卒業生が、「海外に行くよ、よく日本について聞かれます、まずは日本のことを説明できるようなうしろから勉強しましょう」と講演で話すのを聞いて、その通りだなと思いました。

そして、何か自分の強みを持ちたかったのも、日本語教師になろうと考えました。——高校時代に将来の目標を設定されていたんですね。南 留学もしたかったので、一浪後に石川県金沢市の自宅から通学できて、留学プログラムもある北陸大学へ進みました。

師は民間資格でしたが、今年から国家資格になり、名称も登録日本語教員へと変わっています。——留学もされたのですか？南 はい。北陸大学と中国の孔子学院が提携していて、ほとんど費用負担なしに1年間北京で学ぶことができました。

大学で選べる外国語は英語か中国語のどちらかだったので、学んだこの中国語を選びました。このクラスの先生が4人だけ。中国人の先生が毎日みっちり教わったので、とても良い選択だったと思います。現在の中国の漢字は日本の漢字とは異なる簡体字ですが、元は一緒ですから読めるので、

研究の目的は大きく二つあって、一つは日本語学習者に言葉の使い分けなどの文法をわかりやすく記述すること。もう一つは日本人の日本語の使い方を明らかにすることです。前者では主に、日本語と中国語の比較対照ができる複合動詞をテーマにしています。厳密には中国語では動詞ではなくて補語なので、

「なぜその言葉を選ぶのか？」 伝わる表現のための日本語教育研究

み書きは比較的得意でした。——大学院進学に際しての壁はなかったのですか？南 1年次から考えていたことで、親も「自分のやりたいことをやらない」と言ってくれたので、名古屋大学大学院に進みました。大学4年次に、HSKという中国語政府公認の中国語資格の最上級である6級を取得したので、学費が免除され、その分を大学院の進学費用に充てることができました。

後者では、失敗を表す言葉の、時間軸による使い分けについての分析も行いました。例えば、しようにしてできなかった場合は「し忘れる」というように、し忘れる。しようにしてできなかった場合は「し間違える」というように、し間違える。し忘れる。しようにしてできなかった場合は「し間違える」というように、し間違える。

中国語との対比で複合動詞を研究——先生の研究テーマと目的

日本人が好む、相手に寄り添った曖昧表現

南先生のプチ解説

日本人が好む表現の中には、「ちょっと…」など相手と対立しないよう曖昧な言い回しが多く見られます。実は「～すぎる」も同じような動きを持っています。以前は「人が多すぎる」というと、悪い意味で使われることが一般的でした。しかし最近では、「可愛すぎる」のように「とても～」という良い意味で用いられることが増えています。この変化により、「多すぎる」も単に「とても多い」という意味を表すようになり、良い場合にも悪い場合にも、どちらの意味でも使える曖昧な表現へと変化しました。例えば、「人が多すぎて、熱気が伝わってくる／落ち着かない」というように、どちらの意味でもとることができているのです。このように良い意味か悪い意味か評価しない表現の曖昧さは、相手に寄り添いながらも多様なニュアンスを伝える手段として、日本人の柔らかなコミュニケーションにおいて重要な役割を果たしているのです。

教員交換プログラム
カナダレスブリッジ大学から
マリナウスキー教授着任

10月14日旭川市立大学にて、本学卒業生で第170回直木賞受賞作家の河崎秋子さんと、本学附属図書館長・田中綾人文学部教授がトークイベントに出演

定員200名は満席。多くの聴講者が訪れた

最後に学生の皆さんへのメッセージをお願いします。——私たちが無意識に言葉を選んで使っているわけですが、こうしてお話を聞かなければ、そのことを意識することもありませんでした。南 私にとっては母語である日本語が研究対象になるので、人と話す時に気になります。

作家の河崎秋子さん(右)と図書館長・田中綾教授

人気作品の裏側を語る

自著を語る 38
法学部准教授
たかし よしひこ
高橋 義彦

多角的な視点からアンシュルスを描く

『ウィーン1938年 最後の日々』

高橋義彦 著
慶應義塾大学出版会 2024年

学園人脈記

第29回

札幌ハムプロジェクト 代表

脚本・演出 すがの 公 氏

人文学部英米文化学科 平成10年度卒・3期生



十代、二十代の若者たちのための演劇ワークショップを開催している。経験者・未経験者が全員で協力し、ひとつの作品を作り上げる。それを観て来てくれた若い人たちが感動して、また仲間が増えていくという。「僕は小

ていなかった。大学時代の思い出は演劇一色。映画が好きで映画研究会に入ろうとしていたが、サークル紹介の劇で演劇研究会に興味を持った。一学年上の大泉洋さんの、人としてのおもしろさに衝撃を受けたという。「僕が入った年は大泉さんたちの効果だと思っただけで、新入部員がたっさんいたんです。でも公演の数は多くなくて、みんなやることなかった。じゃあ自分でやればいいじゃないかと、一年生の時に脚本を書き始めました。書いてから評判が良くて、定期公演を任せられたりして、結局引退せずに四年生まで演劇をやっていました」。

若者のための演劇に力を注ぐ

四年生の時には劇団の旗揚げを考えるようになり、教職は取ったものの就職活動はせずに劇団SKグループを立ち上げた。札幌を拠点にオリジナル脚本の劇を行い、札幌演劇の底上げにも力を注いでいる。

ダンボール人形を使った子供向けの人形劇も行。道内の幼稚園をまわり、金沢の21世紀美術館でも公演した。「大人の劇はいろいろながらみがあり、文化人からの評価を得たり、助成金を得るために古典劇をやらなければいけなかったり、なかなか報われないと思うことがありました。誰に必要かと考えたら、やっぱりエンタメは若い人のもの。子供向けの人形劇も本気でやるようになりまして」。

「プロフィール」1999年北海学園大学人文学部卒業。1998年劇団SKグループを旗揚げし、2009年札幌ハムプロジェクトを立ち上げる。現在、札幌ハムプロジェクト代表として脚本、演出、役者を行う。

多種多様な業界で活躍する同窓生をリレー形式で連載している「人脈記」。前回登場の酒井聡平さんが、同期で札幌ハムプロジェクトの代表、すがの公さんを紹介してくれた。

「英」という名前がつく学科のある大学を受けて、受かったのが北海学園大学。でも入ってみたら、英語を教えるという学部じゃなかった(笑)。今考えればわかるんですけど、当時は何も考え



自ら役者としても出演するすがのさん(左)



お笑い芸人「高速ぶりん」 つるまる ゆうと

経済学部地域経済学科
令和5年度卒・18期生

札幌を拠点に活動する漫才コンビ「高速ぶりん」。つるまるさんは昔からお笑いが好きで、芸人になりたいと考えていた。大学入学は2020年。新型コロナウイルスの流行で、卒業することになった。海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

「プロフィール」1999年北海学園大学人文学部卒業。1998年劇団SKグループを旗揚げし、2009年札幌ハムプロジェクトを立ち上げる。現在、札幌ハムプロジェクト代表として脚本、演出、役者を行う。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

「プロフィール」1999年北海学園大学人文学部卒業。1998年劇団SKグループを旗揚げし、2009年札幌ハムプロジェクトを立ち上げる。現在、札幌ハムプロジェクト代表として脚本、演出、役者を行う。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。



地域の現場から

イルスの影響で、厳しい行動制限のなか始まった。「入学して一、二か月はオンラインで授業をやっていたが、ゼミだけは対面が可能な学校に行くことができた。その週一回の機会を楽しんでいた。みんな巻き込んでいきました」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

「プロフィール」1999年北海学園大学人文学部卒業。1998年劇団SKグループを旗揚げし、2009年札幌ハムプロジェクトを立ち上げる。現在、札幌ハムプロジェクト代表として脚本、演出、役者を行う。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。



フードバイヤー 遠藤 康浩

経済学部経済学科
平成6年度卒・42期生

遠藤さんは現在、アメリカのオレゴン州ポートランド在住。日本から移住して25年となる。中学生の頃から海外、特にアメリカに強い憧れを抱いていたという。大学進学と同時に英会話学校にも通い始めた。そのためのバイトや大学のゼミを通して、いろいろな人たちの交流があり、自分の世界が広がっていきのを感じた。「大学生は自分の考えに基づいて歩み、様々な発見や可能性を試し、学ぶことができた。有意義な時間でした」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

海外へ行ってと伝える。「海外へ行ったらびっくりすることばかりです。世の中にはいろいろなことがあるんだと、簡単に思うようになりますから」。

